2025 年 12 月 21 日午前 10 時 30 分
待降節 第４主日　クリスマス礼拝
司会　深町　穣
奏楽　金井文子

讃美歌・詩編交読・信仰告白では起立をしますが、お立ちになりにくい方は、座ったままでどうぞ。

アドヴェントクランツ点灯　242 (4)
前 奏
招きのことば　イザヤ 60:1-3
讃美歌　262「聞け、天使の歌」　一 同
詩編交読　113:1-9 (P.130/126)　一 同

祈 り　司会者
≪関東教区お祈りカレンダー≫
上尾合同教会　日野原記念上尾栄光教会　上尾使徒教会
(主の祈り)

讃美歌　175「わがこころは」　一 同

＜洗礼式　幼児祝福式＞

聖 書　新約　ルカ 1:46-56 (P.101)

ﾒｯｾｰｼﾞ『神の選び・その理由』　川上 盾 牧師
祈 り

讃美歌　265「あめなる神には」　一 同

＜ 聖餐式 (讃 257-1,3) ＞

献 金　一 同
(献金感謝の祈り)

信仰告白(家族礼拝のための信仰告白)　一 同

頌 栄　257 (4)
派遣・祝祷　川上 盾 牧師
後 奏

報告・紹介(2025 年奉仕者感謝のとき)

＜招きのことば＞　イザヤ書 60:1-3
起きよ、光を放て。あなたを照らす光は昇り、主の栄光はあなたの上に輝く。見よ、闇は地を覆い、暗黒が国々を包んでいる。しかし、あなたの上には主が輝き出で、主の栄光があなたの上に現れる。国々はあなたを照らす光に向かい、王たちは射し出でるその輝きに向かって歩む。

≪12 月礼拝当番≫　畠中祥世　伊藤普史
五十嵐敏子　手塚福治
木暮富美子　岩渕デボラ

≪今週の集会・行事≫
◎ 本日礼拝後スグ　各奉仕者感謝(礼拝堂)
◎ 本日礼拝後　クリスマス愛餐会(2F ホール)
◎ 22 日(月) 牧師、共愛中高礼拝
◎ 24 日(水)午前　育心こども園教会訪問
◎ 24 日(水) 18:00　聖歌隊練習
19:00　キャンドルサービス
◎ 25 日(木) 牧師、地行園クリスマス
◎ 27 日(土) 13:00　故 木俣修さん 葬儀式
(会堂清掃はお休みします)

≪次週の主日≫
◎ 主日礼拝　10:30　(2025 年最後の礼拝)
ﾒｯｾｰｼﾞ『過ちを改めるこころ』
聖書:旧約　イザヤ 49:11-13(P.1143)
新約　マタイ 2:1-12 (P.2)
讃美歌　259, 268, 258, 27
交読詩編　72:1-7(P.83/79)
司会:服部直子　奏楽:川上ゆり子

≪予　告≫
◎ 1 月定例役員会　1/4(日)礼拝後
◎ 群馬地区教会協議会　1/18(日)15:30
内容：兼牧について学び語り合う／高崎教会

≪報　告≫

◎ 本日の受洗者・幼児祝福者

＊成田雫さん･･･7 月 24 日生　下小出町在住。共愛学園中学 2 年生。幼少からＣＳに通い続ける。趣味は食べること、好きな食べ物は牛タン。今月の週報用紙イラストの作者です。

＊長谷川瞳さん･･･1 月 13 日生　粕川町在住。ＣＳ礼拝に娘・菜々子さんと共に 9 年間ほぼ皆勤で出席。好きな食べ物は甘いもの。趣味は「資格を取ること」。(現在 19 個だそうです)

＊田村曜くん･･･今年 7 月 16 日生　田村啓・佳奈夫妻の長男。健やかな成長を祈ります。

◎ 2025 年、メリークリスマス！

礼拝後、恒例の今年 1 年間の奉仕者に感謝する時を持ちます(礼拝堂)。教会の活動は皆さんの奉仕によって成り立っています。心より感謝します。その後は２階に移ってクリスマス祝会。本日受洗・祝福を受けられた方々に加え、10 月に幼児洗礼・転入会をされた松橋頌・咲良さんの歓迎も合わせて行ないます。最後はハレルヤ・コーラス。楽譜が必要な方は受付に用意しましたのでお持ち下さい。

◎ 群馬地区教会協議会 (2026. 1. 18.)

新潟地区より実際に兼牧教会から牧師・信徒を招き、兼牧の実際について聞き、語り合います。誰でも参加できます。午後 3 時半より高崎教会で開催です。

≪消　息≫
◎ 木俣 修さん ･･･ 19 日、主のもとに召されました。85 歳でした。葬儀は 27 日(土)13:00 より前橋教会で行われます。ご遺族に主の慰めが豊かにありますように。

≪先週の集会≫

	礼拝堂	オンライン	献　金
主日礼拝(合同)	65		29,091
	ジュニア	シニア	計
CS(合同礼拝)	11	8	
CS ｸﾘｽﾏｽ祝会	51		
信仰告白会	18		

《ﾒｯｾｰｼﾞ》『飼い葉おけの赤ちゃん』
ルカ 2:8-14 (12 月 14 日)

▼先月、とてもうれしいことがありました。伊藤さんのところのルーくんが、教会の中をハイハイで動き回るのですが、ある日僕の所までハイハイしてくると、僕の足につかまって「つかまり立ち」をしたのです。その瞬間、僕は何もできなくなってフリーズしてしまいました。「あさがおに、つるべとられて、もらい水」という川柳がありますが、それと同じ状態です。▼うれしかったのは、そのとき僕の心の中で起こったことでした。ルーくんは何も恐れることなく、全幅の信頼を寄せて僕の足につかまっています。その頼ってくれる心に応えなきゃ！そう思ったら、心の中が「キューッ」としました。するとからだが動かなくなってしまったんです。まだ自分にそんな心が残っていたことを感じられて、とてもうれしかったのです。こどもの力ってすごいなーと思いました。歳を取って、心が固くなってしまったじいさんの思いを、一瞬にして溶かしてしまうのですから。▼いま教会には何人もの赤ちゃんがいます。礼拝の最中に赤ちゃんの泣き声が聞こえます。満席の飛行機の中だったりしたら、誰かが「うるさい！」と言いだすかもしれません。でも、前橋教会にはそんな人はいません。(よね!?) それどころかその泣き声、そしてまだ力が弱く、独りではうまく歩けない姿が、周りの大人の力を引き出すのです。赤ちゃんの泣き声から力をもらえる、そんな前橋教会でありたいなーと思います。▼イエスさまはベツレヘムという小さな町で生まれました。どんな場所でしたか？「飼い葉おけ」の中です。清潔なベッドやおふとんの上ではなく、貧しい家畜小屋でお生まれになられたのです。▼それはとても貧しいお誕生でした。でも「みじめ」ではありません。カッコ悪くもありません。とてもあたたかい、祝福に満ちたお誕生だったのです。飼い葉おけに生まれた赤ちゃんイエスさまは、マリアさん、ヨセフさん＝大人たちの力を引き出してくれたからです。▼そのイエスさまの所に最初に訪れたのは？羊飼いです。決してお金持ちではありません。立派な知識を持ってる人たちでもありません。野宿しながら貧しい生活をしていた人たちです。そんな彼らに、天使の最初の知らせが告げられたのです。▼「きょうあなたがたのために救い主がお生まれになった。ダビデの町(ベツレヘム)の飼い葉おけに寝かされた赤ちゃんこそ、その救いのしるしである」。お告げを受けた羊飼いたちはどう思ったでしょう？「エーッ？赤ちゃんなんて弱々しくて、人を救う力なんてないよー！」そんなことは思わずに、「さぁベツレヘムに行こう！神さまが知らせて下さった出来事を見ようじゃないか！」と出かけていったのです。▼飼い葉おけの赤ちゃんは教えてくれます。神さまの救いの力は、大きくて立派で強い人たちのとこに訪れるのではなく、いと小さき者のところに訪れるんだよ、そこから始まるんだよ、ということを。